

関西宣教区便り

第十三号 二〇一六年 四月十日発行

関西宣教区運営委員会発行

「巻頭言ーキャンプの恩返しー」

副宣教区長 松原聖書教会

山本 秀人

昔話「つるの恩返し」、武家社会を支えた「御恩と奉公」。田植えの時には、村人総出で田植えをし、みんなで収穫を祝う。頂いた物は、必ずお返しをして気持ち確かめ合う私たち日本人。『受けた恩に報いる』それは、私たちが脈々と受け継いできた美德であり、共同体を支えてきた知恵ではないでしょうか。

この『恩返し精神』が、ここ関西宣教区のチャレンジャーキャンプにも息づいているのをご存じでしょうか。「来年はスタッフで戻ってきませう。多くの高3キャンパー達は、その口を揃えて宣言し、次の年に約束を果たしてくれています。教職以外で中心となってキャンプを運営している事務局スタッフも今や全員が元キャンパーで構成されるまでになっています。彼らは、毎月のようにミーティングを重ね、キャンプに備えています。「なぜスタッフをしている

の？」そう彼らに聞いてみると、

「キャンプでお世話になったので、今度はスタッフとなって仕えたい。」

「キャンプで救われたので、次は後輩たちを見守り育てたい。」また、

「ミーティングの恵みは？」と尋ねると、「ミーティングで同世代と主

にある交わりができて楽しい。」

「強い仲間意識ができる。」

「教会を超えて一つになれる。」とのこと

ここにもう一つ大切なキーワード

『楽しさ』を見て取ることができま

す。楽しいところには人は集まります

楽しいと苦にはなりません。彼ら青

年たちは楽しく、主にある恩返しを

やってのけているのです。

そんな彼らの姿に宣教区がつなが

るヒントが隠されているのではない

でしょうか。手が足りない時には他

教会に協力を要請してもいいでしょ

う。大きな祈りの課題は、宣教区に

発信してもよいでしょう。教会同士

の小さな楽しい交わりを企ててもよ

いでしょう。肩ひじ張らない「楽し

さ」をひとさじ加えることで、きつ

とうまくいくでしょう。かの青年た

ちのよつに…

関西宣教区各教会

年間聖句・祈禱課題

テーマ・聖句 祈りの課題

写真は役員会メンバー

近江聖書教会

「宣教する教会」マルコ16章15節

伝道と社会的責任を取れる教会に

なるように。年間標語のため考える

教会になるように。



京都めぐみ教会

「たましいの救いと弟子つくり

生きる」マタイ28章19節、20節

テーマ聖句（大宣教命令）に生き

る群れであるように。主日礼拝が

主に喜ばれ、求道者も加えられるよ

うに。創立30周年（来年）を迎える

諸準備の祝福。

生駒めぐみ教会

「キリストの愛に答えて生きる」

ヨハネ21章16節

就職や結婚等で地方に行く青年た

ち（5名）と入って来る姉妹（1名）を

主が祝福してくださるように。皆が

キリストの愛に答えて互いに愛し合っ

て生きる一年でありますように。



学園前聖書教会

「ただ一つの慰めとしての土台」
ローマ14章8節b

宣教と教会形成の祝福のため(主日礼拝時間の変更、家の教会の働き)。地域への宣教の祝福のため(絵本の読み聞かせ会等)。教会教育の充実と信仰継承の祝福のため(ユース科の新規設置など)。

大和郡山めぐみ教会

「主イエスを仰ぎ見つ走ろう」
ヘブル12章2節

教会が、ひとりひとりが、信仰の創始者であり完成者である主イエスから目を離さずに歩むことができるように。求道中の方々が、明確な信仰決心に導かれるように。病のうちにあきらみに、日々主の守りと平安があるように。



茨木聖書教会

「あなたの口を大きくあけよ」
詩篇81篇10節b

祈りの課題 ひとりの救いに集中する教会となれるように。新たに始める「ゴスペルミニストリー」「フットサルミニストリー」が祝福されるように。

箕面めぐみ聖書教会

「みことばを宣べ伝える教会」
コリント15章58節

第2種教会としての歩みが祝福されますように。より良い宣教と教会形成ができますように。新会堂取得に向けて御心がなりますように。



蛭池聖書教会

「教会創立50周年 ヨベルに生きる教会」
レビ記25章12節

創立50周年記念の諸集會が祝されるように。創立50周年を迎え、今までの主の恵みで振り返り感謝と賛美を捧げることが出来るように。

創立50周年を迎え、これからの教会の歩みのために良きビジョンが与えられるように。

松原聖書教会

「風は思いのままに吹く」
ヨハネ3章8節

5年目となる家の教会の活動が祝福され用いられるように。子育てセミナー・牧者会などの学びが用いられるように。ベビースクール・プリスクール・幼児園活動が用いられるように。



高槻聖書教会

「キリストの弟子作り」
マタイ28章19節、20節

養育の目的の小グループの発足、CSスタッフ研修、弟子コース開始のために。財務状況の改善、50周年記念誌準備、教会理念作成のために。

くずは聖書教会

「互いを尊び助け祈り合い、主の愛に根差す愛の共同体を目指す」
コリント12章27節

「家の教会」が魂の救いと弟子づくりのために豊かに用いられるように。主の愛で愛し合う愛の信仰共同体になるように。

伝道賛美コンサート(オンギジャンイ、NCM2)が用いられ実を結ぶように。求道者、信仰決心者、受洗者が起られるように。



武庫之荘めぐみ教会

「主は歩みを確かにされる」
箴言16章9節
教会員子弟への信仰の継承。求道者が救われますように。 嬰兒・幼児・小学・中高生・大人の各会が祝福されるよう。



神戸めぐみチャペル

「再献身」ローマ12章1節、2節
牧師交代が教会にとって有益なものとなり、教会の前進に繋がるものとなり、ひとりひとりが再献身する年となるように。



播磨キリスト教会

主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。 詩篇34篇8節
定期的に開催しているキラキラ会（これからの教会のあり方について考え、分かち合う会）の充実。



川西聖書教会

教会の歩みのためにお祈り下さい。
西神ニュータウン聖書教会
教会の歩みのためにお祈り下さい。



着任教師紹介

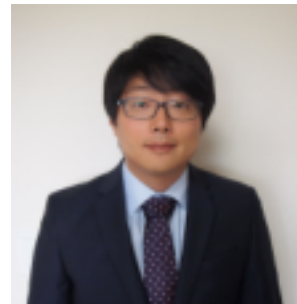


茨木聖書教会
吉持 尽主師
(よしもち つくす)

出身教会 高麗聖書教会
好きなみことは テモテ4章16節
趣味 フットサル、サッカー観戦、将棋

救いの証し 牧師家庭に生まれ、生まれる前から教会に行っていました。その後、12歳の時に祖母の死をきっかけに、信仰を継承していきたくてという思いで受洗しました。また、15歳の時に、松原湖バイブルキャンプで聞いた証をきっかけに、献身の思いが与えられました。その後、献身を目指すものとして相応しくない歩みをしていましたが、17歳の時に、松原湖バイブルキャンプで再度、救いを体験し、献身の思いが与えられた時がありました。高校卒業後、東京基督教大学に入学し今に至ります。
祈禱課題 茨木聖書教会での働きが祝福されますように。健康が守られていきますように。

協力教師紹介



神戸めぐみチャペル
田 黎明師
(ジョン ヨミョン)

出身教会 ムジゲ(虹)教会。大韓イエス教長老会所属。
好きなみことは
ヘブル11章13、14節。
趣味 料理はできませんが、料理番組を見る事。(特に中華)安くて美味しい店を探して行くこと。

救いの証し 4歳の時に親類から「ヨミョンよ、あなたにはイエス様の血が注がれているよ」という言葉を聞きました。そして高校生になって自分の存在の意味について悩んでいた時、その言葉が心に響き、クリスチャンになりました。
祈禱課題 神戸恵みチャペルは遠い所から来られている方が中心ですので、教会の近くにお住まいの方が起こされますように。日本語の読書の能力向上のために。

委員会報告

集会担当 玉垣 資

奉仕者研修会 4月19日(日)

場所 松原聖書教会

講師 中谷美津雄先生

テーマ「教会と共に生きる者に」

参加者 17名

ローマ書12章1節を中心に、献身は神の愛への応答、信仰の応答であると教えられました。奉仕がいつも自発的、主体的なものであるようにと励ましを頂きました。

連合婦人会 6月12日(金)

場所 茨木聖書教会

講師 堀肇先生

テーマ「人生の四季を見つめて」

参加者 116名

人生にはそれぞれの段階で取り組むべき宿題があることを教えられ、後からでもその宿題に取り組むことができるので前向きに人生を見つめることの大切さを気づかされました。

新年聖会 1月11日(月)

場所 茨木聖書教会

講師 趙南洙先生

テーマ「わが子を弟子としなさい」

参加者 252名

申命記6章4〜9節から、聖書のみことばに親しみ、互いに分かち合

い、心に刻んでいく大切さを教えられました。若い世代が成長できる教会のあり方の構築が急務であるとチャレンジを頂きました。

開拓担当 石川 秀和

『滋養開拓10周年の恵みと感謝』

2006年4月、関西宣教区と教団の支援と祈りの中に近江開拓は開始されました。未伝地の開拓は魂の獲得とともに、弟子化、礼拝堂の獲得、経済的自立、継続的な伝道と社会的責任をどのように進めるのか課題は多くあります。

関西宣教区の教職、信徒の方々の応援や祈りなくして困難を極めますが、幸いこの両者はコンスタントに継続され今に至りました。改めて皆様に感謝をお伝えしたいと思います。同時に宣教の主の業として開拓が進められ多くの求道者が与えられ伝道と社会的責任のささやかな前進がありました。

すべての栄光を私たちの主にお返ししたいと思います。感謝。

青少年担当 山下 巨

2015年度も、関西宣教区の次世代を担う中高生たちを覚えて尊いお祈りと温かいご支援を感謝いたします。青少年員会では、彼らの霊的成長と交わりを深めるためにおもに

3つの集会を企画しました。

10月12日(祝) 寝屋川公園で行われたソフトボール大会には、6教会から7チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。白熱した試合の結果、優勝は松原聖書教会でした。

11月23日(祝)のD・Youth・Kidsでは、各教会から37名の参加者が起こされ、午前中は体育館でスポーツ大会、午後からは生駒めぐみ教会でメッセージを聴きました。メッセージヤーは玉垣資先生でした。

3月28〜30日いえしま自然体験センターで行われたチャレンジャーキャンプには、総勢90名を超すキャンパーと奉仕者が参加し、中高生たちの若さあふれる賛美がささげられました。メッセージヤーは吉持日輪生先生、青年たちも真剣に耳を傾けていました。すでに次年度のチャレキャンに向けても、青年たちを中心とした事務局が立ち上がります。このように宣教区の中で、信仰継承のバトンが

つながれていることは素晴らしい恵みです。今年度も、中高生たちを青少年委員会主催の諸集会に送っていただき、ますます各教会でも多くの実を見ることができそうです。お祈りとご支援のほど、宜しくお願

関西宣教区の予定

6月17日(金) 連合婦人会
講師 大嶋裕香氏
茨木聖書教会にて

8月28日(日) 講壇交換
10月10日(月・祝)

ソフトボール大会
11月23日(水・祝)

中高生集会『D・Youth』
会場は未定



チャレンジャーキャンプ
2016.3.23〜28 いえしま自然体験センター